

第5回多摩区地域福祉実態調査結果まとめ（抜粋）

* P（ページ数）は、「調査概要 多摩区版」のページ数

1. 地域住民のつながりの促進について

(1) 近所づきあいの程度 P 10 問14

○ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしているか

「あいさつをする程度」	46.3%（前回45.9%）
「ときどき話をする程度」	28.9%（前回30.0%）
「ほとんどつきあいがいい」	14.9%（前回14.5%）

「あいさつをする程度」が約半数で、「家族のように」「親しく話をする」「ときどき話をする程度」を合わせた割合は前回調査も今回調査も市全体を上回っている。

(2) 近所づきあいや地域住民同士の交流の必要性 P 11 問15

○近所づきあいや地域住民同士の交流についてどの程度必要と考えるか

「困った時は当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」	37.1%（前回36.6%）
「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」	26.7%（前回30.3%）
「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい」	25.1%（前回23.8%）

地域での助け合いについて必要と感じながら「面倒なのであまりしたくない」の割合が増え、市全体より高い。

(3) 助け合いができる「地域」の範囲 P 13 問17

○助け合いをすることができる「地域」の範囲はどの程度と考えるか

「町内会・自治会程度」	40.6%（前回42.1%）
「隣近所程度」	38.7%（前回38.6%）
「小学校区程度」	5.1%（前回6.9%）
「中学校区程度」	3.2%（前回2.4%）

「町内会・自治会程度」が40.6%で最も多い。次いで、「隣近所程度」が38.7%。

地域住民のつながりとして、近所づきあいは挨拶程度の方が約半数である。
問42（P36）で、「地域福祉推進のために市民が取り組むべきこと」として、「地域での交流を通じて、住民同士の助け合いの意識を向上させる」（42.9%）で最も高くなっている反面、「日ごろからの交流は面倒」という方が増加傾向にある。

2. 地域住民の日常生活・地域における課題について

(1) 地域における課題 P14 問18

○「地域」において、今何が問題だと感じているか（複数回答）

「高齢者に関する問題」	36.5%（前回37.6%）
「地域防犯・防災に関する問題」	35.6%（前回33.4%）
「地域のつながりに関する問題」	27.6%（前回22.1%）
「問題だと感じることはない」	23.2%（前回22.1%）
「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいる」	20.3%（前回16.2%）
「子どもに関する問題」	17.1%（前回27.6%）

「高齢者に関する問題」「地域防犯・防災に関する問題」「地域のつながりに関する問題」の上位3つは前回調査と変わらず。
「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいる」の割合が増えている。

(2) 家庭生活における不安 P16 問19

○家庭生活の中で次のような不安を感じたことがあるか（複数回答）

「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」	44.1%（前回38.6%）
「経済的に生活できるか不安である」	32.4%（前回29.7%）
「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」	25.1%（前回23.1%）
「病気になったときに頼れる人が身近にいない」	16.5%（前回11.7%）
「子育てがうまくできるか不安である」	8.9%（前回6.6%）

家庭生活における不安の全項目で不安を抱える割合が増加している。

個人の生活の中での不安としては、「いつまで身の回りのことができるか」が4割を超えている。

地域で課題だと感じていることは、「高齢者に関すること」、「地域防災・防犯に関すること」、「地域のつながり」に続き、「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいる」「子どもに関すること」となった。

3. 地域課題の解決方策について

(1) 心配ごとを解決するために必要なこと P17 問20

○心配ごとを解決するために必要だと思われることは何か（複数回答）

「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」	48.3%
「保健や福祉のサービスの利用料が低額であること」	47.6%
「身近でいつでも相談できるところがあること」	44.1%
「緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること」	39.7%
「保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること」	38.7%
「利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること」	35.2%

(2) ケアが必要になった際に、地域の人にどんな手助けをしてほしいか P20 問24

○もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいか

「安否確認の見守り・声かけ」	45.7%
「災害時の手助け」	44.1%
「炊事・洗濯・掃除などの家事」	26.7%
「ちょっとした買物」	21.0%

(3) 地域の課題に対して、あなた自身ができることは何か P20 問25

○地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、できることは何か

「安否確認の見守り・声かけ」	62.9%
「ちょっとした買い物」	35.2%
「災害時の手助け」	33.0%
「趣味など世間話の相手」	19.0%

地域課題の解決方法について、心配ごとを解決するために必要なこととして、「利用するサービスの利用手続きが簡便でサービス種別も豊富で低額なこと」、「情報が取りやすく、相談できる先があること」などが挙げられている。

また、「地域の人たちに手助けして欲しいこと」と「地域の支え合いとして自分自身ができること」について、「安否確認の見守り・声かけ」、「災害時の手助け」、「ちょっとした買物」など、概ね回答が一致している。

4. 地域活動やボランティア活動について

(1) 地域活動やボランティア活動への参加状況 P 24 問31

○次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがあるか（複数回答）

「参加したことがない」	41.6%（前回42.1%）
「町内会・自治会に関する活動」	29.2%（前回28.3%）
「お祭りやイベントに関する活動」	19.4%（前回21.4%）
「環境美化に関する活動」	18.1%（前回20.3%）
「スポーツに関する活動」	13.0%（前回8.3%）

(2) 地域活動やボランティア活動に参加した動機やきっかけ P 26 問31-1

○活動に参加した動機やきっかけは何か（複数回答）

「自分たちのために必要な活動だから」	39.7%
「家族・友人・知人から誘われたから」	28.2%
「人の役に立ちたいから」	23.7%
「余暇を有効に活用したいから」	19.2%
「つきあいのため、やむを得ず」	17.9%

(3) 地域活動やボランティア活動に参加しない理由 P 27 問31-6

○地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由か（複数回答）

「仕事や家事が忙しく時間がない」	53.4%
「きっかけがつかめない」	30.5%
「身近に活動グループや仲間がない（知らない）」	22.9%
「人と接するのが苦手」	16.0%
「健康に自信がない」	13.0%
「一度はじめると拘束されてしまう」	12.2%

(4) どのような状況になれば地域活動やボランティア活動に参加したいか P 28 問31-7

○どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思うか

「地域活動やボランティア活動はしたくない」	15.3%
「活動できる時間ができれば」	13.7%
「きっかけがあれば」	13.7%
「体力や健康に自信があれば」	11.5%
「興味を持てる活動があれば」	9.9%

地域活動・ボランティア活動について、参加したことがある方は、「町内会・自治会に関する活動」、「お祭りやイベントに関する活動」、「環境美化に関する活動」、「スポーツに関する活動」などの回答が多い。また、参加したことがない人が4割を超えている。

参加したことがない理由としては、「仕事や家事が忙しく時間がない」、「きっかけがつかめない」、「身近に活動グループや仲間がない（知らない）」といった回答が多かった。

参加したことがないと回答した人のうち、「きっかけがあれば」参加したいと思うと回答した人の割合は、13.7%。

5. 今後の地域福祉の推進について

(1) 市民が取り組むべきことは P36 問42

○今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、どのようなことが重要と考えられるか（複数回答）

「住民同士の助け合いの意識を向上させること」	42.9%(前回41.0%)
「家族以外で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」	33.3%(前回34.5%)
「情報が集まる場をつくること」	29.5%(前回33.8%)
「住民同士が話し合いの機会をつくること」	23.5%(前回22.1%)
「ボランティアや地域で活動する人を増やすこと」	22.2%(前回16.6%)

(2) 行政が取り組むべきことは P37 問43

○今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、どのようなことが重要と考えるか（複数回答）

「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」	41.0%(前回47.9%)
「福祉サービスの評価や内容の情報開示」	40.0%(前回37.6%)
「情報提供、相談の場づくり」	34.0%(前回27.9%)
「地域課題やニーズの把握」	29.2%(前回29.0%)
「地域福祉を担う人材の育成」	28.6%(前回27.6%)

6. 地域包括ケアシステムについて

(1) 地域包括ケアシステムの理解度 P39 問45

○「地域包括ケアシステムの理解度や行動について、あてはまるもの

「聞いたことがない」	48.6%(前回52.8%)
「聞いたことはあるが、内容は知らない」	21.3%(前回20.7%)
「おおむね知っているが、何をすればよいか分からない」	13.7%(前回8.3%)
「知っているが、具体的に行動していない」	5.4%(前回8.3%)
「具体的に行動している」	1.9%(前回2.1%)

